

留学体験レポート

新潟国際情報大学
国際文化学科
21016015 今井日和

約 4 か月の韓国留学を通して、今後韓国留学をしたいと考えている人たちに何か役に立つような情報を伝えたいと思う。

韓国といえば真っ先に思いつくものの一つとして、辛い食べ物がある。韓国にはイメージ通り辛い食べ物が多くあるが、辛い物が食べられない、好まない人たちが生活しづらいかと言われればそうではない。韓国に来た当初は辛い物をできるだけ食べないように避けていたが、お店で出されたものを食べたり実際に生活したりしていくうちにだんだんある程度の辛いものには慣れて食べられるようになるので安心してほしい。さらに韓国には日本食のお店が数多くあり、特にとんかつやカレーのお店をよく見かけたので辛い物やファストフードに食べ飽きてしまったときには、日本食のお店で食事するのも一つの手だと考える。日本食のお店だとはいえ、やはり海外での日本食は日本人からすると少し異なった部分があると感じるだろう。どのような部分が日本とは異なるのか、と考えながら食事をするのも楽しいだろう。

本学の派遣留学の期間は約 4 か月である。平日は韓国語と韓国文化に関する授業を受けているのでとても疲れるから土日は部屋で休みたいと思ってしまうかもしれないけれど、4 か月というのは一見長いように感じるが実際に過ごしてみると本当にあっという間に過ぎていってしまうので、時には身体を休めることも必要だが日本に帰ってから後悔しないように休みの日こそ自分の行きたいところに行き韓国の文化に直接触れてほしい。

韓国だけでなく留学する上で大切だと思うことは、留学に行く目的をきちんと定めることである。韓国語を上達させたいというだけでなく、日本との違いを自分の目で確かめるといった自分なりの目的を定めることでさらに充実した留学ができるはずだ。実際に地下鉄で突然行われるグッズの販売や、日本と韓国の接客の差、スーパーの値段、交通費の差など日韓の比較や日本にはないもの、反対に韓国にはないものに興味を持ち理解することで、韓国で生活することが格段と充実したものになるはずだ。

最後に、韓国だけでなく留学に行った際には周りには周りにいる人たちとたくさん話すべきだ。きちんと言葉で伝えることで自らの意思も伝わる。外国の友達を作りたいならば言葉を間違えることは恐れず、たくさん話しかけていってほしい。必ず友達を作ることが出来るだろう。